

キャンプクラブならびにその他日帰り事業実施にあたり、下記新型コロナウイルス感染症対策ガイドラインを定め、遵守した上で実施いたします。

【事業実施基準】

- ・政府や自治体の緊急事態宣言に伴う外出自粛要請が発表されていないこと。(状況により PAL で実施判断する。)
- ・ガイドラインに基づく事業の実施ができる状態にあること。

【リーダー・スタッフの参加基準】

- ・参加当日を含めて開催日からさかのぼって1週間以内に37.5℃以上の発熱、咳、喉の痛み、倦怠感などの体調不良がないこと。
- ・リーダー・スタッフの家族などの濃厚接触者に上記の体調不良者がいないこと。
- ・14日以内に日本国外への渡航をしていないこと。
- ・リーダー・スタッフ本人の通う学校、職場などで新型コロナ感染による休校、休業がないこと。

【参加者の参加基準】

- ・参加当日前に37.5℃以上の発熱、咳、喉の痛み、倦怠感などの体調不良がないこと。
- ・参加者の家族に上記のような体調不良がないこと。
- ・参加者本人の通う学校、職場などで新型コロナ感染による休校がないこと。

【感染症予防対策】

- ・当日集合時に参加者及びリーダー・スタッフの検温と手指アルコール消毒を実施する。
- ・集合解散時、リーダー・スタッフはマスク着用に加えてフェイスシールドを着用する。
- ・参加者ならびにリーダー・スタッフはマスク着用の上活動に参加する。
※登山など激しい運動を伴う活動は、熱中症、呼吸困難の危険性が高まることが予想されるため、状況に応じてマスクを外す場合がある。この場合はフィジカルディスタンス(1m~2m)をとるなどの対策を講じる。
- ・食事は手洗い・うがい・手指のアルコール消毒を行ってからとるようにする。
座席については各施設のガイドラインに従うが、基本的に対面にならないよう互い違いに座席につくようにする。
- ・食事前以外も都度手洗い・うがい・手指のアルコール消毒を行い、共用のタオルは使わず、個人のハンカチまたは使い捨てのペーパータオルを用いる。
- ・入浴については脱衣場で密にならないようにグループごとに時間を分けて入浴するなどの対策を講じる。
使用したバスタオルは乾燥させた後アルコール消毒を行う。
- ・朝夕一日に二回検温を実施し、参加者ならびにリーダー・スタッフの体調チェックを行う。
- ・発熱者が出た場合は別室に隔離。保護者の方に連絡の上すみやかに迎えにきてもらう。
- ・リーダー・スタッフは参加者の体調の変化に気を配るとともに、感染の恐れのある行為(マスクをしない状態で密接・密集する、他の参加者の顔を触るなど)や咳エチケットなどの注意を行う。
- ・室内でのプログラムを実施する場合、窓を二か所以上開けて換気を行い密室状態になることを回避する。
※屋外の活動においては参加者の活動に原則制限は設けない。
- ・バス乗車時は乗車前に手指アルコール消毒を行った上で乗車する。その他の対応は貸切バス旅行連絡会の「貸切バスにおける新型コロナウイルス対応ガイドライン」に準ずる。 https://www.anta.or.jp/law/pdf/covid-19_guideline_bus.pdf